

Entrepreneur Candidate Club ECC-iCAP #12

起業家×研究者×技術者が
京都大学のサイエンスで起業する
プラットフォーム

参加無料

Ph.D.ホルダーの 新しいキャリア

なぜ博士が
スタートアップに？



2022. 1. 28 金
[18:30 - 20:30]

開催場所

ヒューリックホール京都
オンライン配信

新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、オンライン開催のみに変更します。

2022年最初のECC-iCAPイベント開催です！
今回は、スタートアップを博士の活躍の場の一つとして捉え、実際に活躍されている経営者や研究者からプレゼンいただきます。

起業を志す方やベンチャー経営者の方などなど、ぜひご参加ください！

オープニング

18:30～18:45

プレゼンテーション

18:45～19:30

核酸医薬を社会実装するには研究者である自分が最適だった

和田 郁人 (リードファーマ株式会社 代表取締役社長)

マイナーなウイルスで病気を治す

小森園 亮 (京都大学ウイルス・再生医科学研究所 研究員)

Ph.D.とスタートアップと私 (あなた)

江崎 寛季 (BFACT株式会社 代表取締役社長)

ディスカッション

19:30～20:00

京都スタートアップエコシステムの取組み、関西圏での
シーズ紹介、登壇者とのパネルディスカッション

クロージング

20:00～

申し込みはこちらから！

<https://ecc-icapevent12.peatix.com>



ポスドク・院生・
学部生も大歓迎！

お問い合わせ：ECC-iCAP事務局 ecc-icap@kyoto-unicap.co.jp

主催：京都大学イノベーションキャピタル株式会社

共催：京都府、京都市、京都知恵産業創造の森、
京都大学産官学連携本部

ECC-iCAPは、起業家と京都大学テクノロジーのマッチングを目的として
京都大学イノベーションキャピタル株式会社が運営するクラブです。
過去イベントは京都iCAPのFacebookをチェック！

和田 郁人

リードファーマ株式会社 代表取締役社長

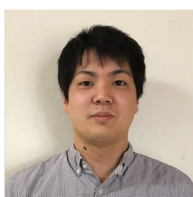


2008年に青森高等学校を卒業後、2009年大阪大学薬学部薬科学科に入学。2013年に同大学大学院に進学後、核酸医薬品の研究開発に取り組み、2018年に博士号（薬科学）を取得。また、2015年からは国立循環器病研究センター研究所の斯波研究室にて流動研究員としても研究に従事し、博士号取得後も同センターにて核酸医薬の実用化に向けて研究を継続した。2019年8月にリードファーマ株式会社（Liid Pharmaceuticals, Inc.）を斯波部長と共に設立し、代表取締役社長に就任。2020年3月には国立循環器病研究センターを退職し、その後、同社にフルコミットすることでアカデミアシーズの社会実装の加速に尽力。

<https://liidpharma.co.jp/>

小森園 亮

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 研究員



京都大学生命科学研究科博士後期課程単位取得認定退学後、2020年4月より同大学ウイルス・再生医科学研究所にて特定研究員として従事。朝長啓造教授（京都大学ウイルス・再生医科学研究所）が独自に開発したRNAウイルス型ベクター

「REVec」を用いた遺伝子治療薬の開発、およびその事業化を担当。2020年4月より京都大学発のベンチャー起業を支援するインキュベーションプログラムの事業化推進責任者を務める。2021年11月より本プロジェクトがJST START事業に採択。複数の製薬企業やアカデミアと共同研究を実施し、従来のウイルスベクター技術では効果が不十分であった疾患の根治を目指している。大学発の新規モダリティを産官学連携で様々な疾患へ提供し、患者ひとりひとりのために創薬します。専門分野：ウイルス学、遺伝子工学、幹細胞治療学。1993年生まれ、鹿児島県出身。

江崎 寛季

BFACT株式会社 代表取締役社長



1990年生まれ、福岡県大川市出身。名古屋大学特任助教を兼業。2020年名古屋大学大学院医学系研究科博士課程を修了し、博士号（医学）を取得する。BFACT株式会社創業者でもある榎本篤氏から「がんを対象とした間質ターゲティング治療法の研究開発」を振られ、プロトタイプの前製と解析を行い、同社創業にこぎつける。「アンメットメディカルニーズを、どげんかせんといかん」をモットーに事業に勤しむ。

趣味：バスケットボールと総合格闘技の観戦（たまにクラシック音楽の鑑賞）。

<https://bfact.jp/>